

こんにちは。お世話様です。寒さが身に染みる季節となりました。山々は本格的な紅葉が始まり鮮やかになってきました。それだけ、寒暖の差が激しくなってきたという事になりますね？。

さて、18回目のお話を始めたいと思います。今回は、家を設計する際に皆様、間取りを考える時に関係してくる住宅の「**バランス**」について施工例を交えて、お話ししたいと思います。

まず、お話しする前に、施行例で載せている住宅は当社が施工した住宅です。ですのでお名前を伏せさせて頂くのと、建物の立地条件(地形・高低さ)によって、それぞれ異なっている事を御了承下さい。

施工例1をご覧ください。この住宅は、多少の高低さがありますが、総2階で建てられています。建物の1番理想の形は総2階になります。何故、理想かと言いますと、1・2階が同じ大きさですので無駄なく使えるのと、形状的に無駄がありません。外観的にスッキリし過ぎてはいますが、屋根を2階だけ配置する事により、下屋(1階の屋根)が無くなり、その分の工事代金が安くなります。

尚、1・2階の間仕切り壁(部屋と部屋を仕切る壁)が上下同位置になると、より無駄が無く、理想的です。

施工例2は下屋がありますが、写真の左側が総2階になっているので、角の柱が通し柱(1階から2階まで1本の柱)とすることが出来ます。よって、家の上下バランスは良いと思われれます。



施工例1

施工例2

施工例3をご覧ください。若干の高低差を利用して、建てられています。1階部分は鉄骨造で建てられています。右側の部分に柱が見えると思います。その左側は車庫なので中は見えませんが、鉄骨造になっています。2階は木造で建てられています。木と鉄骨の組合せは問題ないとして、形状が問題です。地震の際、向かって右側の部分が揺れやすくなります。理由は1階の柱が鉄骨と言えども壁のない状態では強度が劣るからです。建物は柱・壁で一体となり強度を出しているからです。

施工例4は、向かって右側の部分が増築になっています。施工例3と同じように、1階の部分の柱が露出しています。右側奥が壁ではありますが、地震の際に2階部分は左側へ傾きます。ここで1つ、重要なポイントをお教えします。窓を設ける位置です。建物の4隅は筋違い(すじかい)が入ります。建物の構造上、4隅はとても重要な部分です。そこへ窓を設けるのは、あまり好ましくありません。壁も窓もバランス良く配置する事です。よって施工例3・4の場合は壁のない部分に、それを補える補強をする必要があります。



施工例3

施工例4

施工例5をご覧ください。実はこの住宅は、私の工事ではありません。他の会社の批判をした訳ではなく、公平に批判したいと思います。向かって左側の部分が増築になっています。下が鉄骨造なのですが、軽量鉄骨造です。施工例3の鉄骨造は重量鉄骨造です。重量鉄骨造の方が、強度も丈夫です。1番はバランスの悪さです。1階が軽くて、2階が重い住宅なら、どうなるでしょう？。積木でも上が重いと倒れますね？。そのような住宅は世の中にはたくさんあるのです。以上、述べた事を参考に御自分のプラン作成にお役立て下さい。



施工例5

今月の話題です。



今年も、あるお店のイベントでまた、イモ堀に出掛けて参りました。同じ場所でのイモ掘りでしたが、去年より今年のイモの方が出来が良くなかったみたいです。去年の10月に各左の小さい写真にあるように、この情報誌に載せさせて頂いた2人が、1年経って右のように成長しました。我が子ながら、成長は嬉しいものです。親バカですね(笑)。

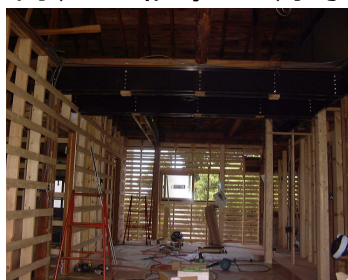
早速、大学イモや天ぷらにして頂きました。お味は美味しかったです。

PHPの取材を受けました。

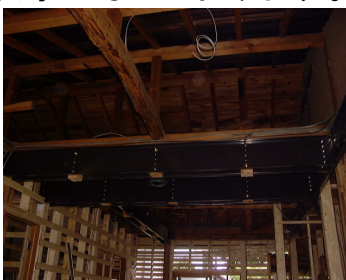
毎月お配りしてます、雑誌PHPの特集で「わが家のリフォーム自慢」として、お盆前にお引渡ししたお客様のお宅を取材させて頂きました。PHPの女性記者に、私も同行させて頂いた時のお話をしたいと思います。

取材させて頂いたお客様は、立科町でリンゴ栽培をされてるお家です。今、出荷でお忙しいところ、取材にご協力頂きました。お家は昭和40年代に建てられた住宅で、使い勝手が悪く、水周りも老朽化しておりました。それで今回、リフォームを考えられたそうです。大まかに改修点を挙げますと、3部屋だった部分を26畳のLDKにまとめ、和室を1部屋作り、水周りを改修しました。柱を抜いた、大改修でした。1時間位の取材時間でしたが、記者の最後の質問、「今回のリフォームを一言で言うと?」の質問に「家族の夢です」と答えられ、感激して涙ぐんだ奥様が印象的でした。私共はその夢のお手伝いをさせて頂いた事に、とても感謝しております。新築もリフォームも同じです。

尚、この記事は1月号に掲載させて頂く事になっております。御期待下さい。



LDK改修中



LDK改修後



取材風景



M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225

FAX:(0268)68-2196

森田携帯:(090)2215-8356

URL:<http://www.moriken-motto.com> E-mail:mail-info@moriken-motto.com